

## 記念事業

### ■島原半島の魅力 ～ 雲仙岳百景 ～フォトコンテスト

#### ○応募上の注意

プロ・アマ不問。オリジナルの作品にて応募すること。

#### ○応募方法・応募先（EメールまたはCD-R等の電子記録媒体の郵送及び南島原市 Facebook による）

・Eメール：R0-UNZEN@env.go.jp

・郵送：〒854-0621 長崎県雲仙市小浜町雲仙 320、環境省雲仙自然保護官事務所フォトコン係

・南島原市 Facebook ページ：<https://www.facebook.com/minamishimabaracity>

※「応募者氏名、住所、電話番号、作品タイトル、撮影条件、撮影時の思い」を明記のこと。

※CD-R等の返却不可。

#### ○応募期間と発表

・平成26年6月11日～平成27年1月31日

・月間賞及び全月間賞受賞作品の中から年間グランプリを選考委員会により決定。

※年間グランプリ（1作品）：30万円。月間賞（毎月2作品）：1万円相当の島原半島の産物。

・応募作品の取り扱いに関する規定あり。詳細は<http://www.env.go.jp/park/unzen/>

#### ○お問い合わせ

国立公園「雲仙」指定80周年及び島原半島世界ジオパーク認定5周年記念事業

実行委員会事務局フォトコンテスト担当 〒854-0621 長崎県雲仙市小浜町雲仙 320

環境省雲仙自然保護官事務所 フォトコンテスト係（岸田・瀬戸口）

TEL：0957-73-2423 FAX：0957-73-2587 Eメール R0-UNZEN@env.go.jp

### ■風と歩く 2日間 ～ 島原半島ツーデーウォーキング ～

#### ○日時及び参加料

平成26年10月4日～10月5日、お一人様2,000円（宿泊・食事代別）

#### ○コース（3つのコースから選べる1日目と当日までのお楽しみの2日目コース）

・1日目：記憶の風が走る！～島原大変さらく～

太古の息吹を感じる風！～小浜温泉さらく～

祈りの物語に吹く風！～キリシタン紀行さらく～

・2日目：ミステリアスな風に逢う！！～コースは当日までのお楽しみ～

#### ○お問い合わせ・お申込み

島原半島ツーデーウォーキング実行委員会（一般社団法人 島原半島観光連盟事務局）

〒855-0879 長崎県島原市平成町1-1 雲仙岳災害記念館内

TEL：0957-62-0655 FAX：0957-62-0680

※詳細：島原半島観光連盟ホームページ「まるまる島原半島」<http://www.shimakanren.com/>



島原半島は「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録を推進しています



## 国立公園「雲仙」指定80周年 島原半島世界ジオパーク認定5周年



雲仙岳を中心として三方を海に囲まれた島原半島は、火山と海洋が織り成す豊かな自然景観、その大地の上に成立した豊富な歴史文化が評価され、昭和9年には日本初の国立公園、平成21年には日本初の世界ジオパークに認定されています。

昭和初期は日本の観光黎明期で、全国で国立公園の誘致合戦が繰り広げられる中、長崎県と島原半島内の全市町村を挙げての熱烈的な誘致活動が実を結び、80年前の昭和9年3月16日に「雲仙国立公園」が誕生しました。

島原半島世界ジオパークは、国立公園を核とし、全国でも国立公園との連携がもっとも進んだジオパークとされています。

「火山との共生」というキーワードの下、島原半島の豊かな自然と歴史文化を次世代に伝え、地域振興に役立てていかれるよう、これからも連携を深めてまいります。

主催：国立公園「雲仙」指定80周年及び島原半島世界ジオパーク認定5周年記念事業実行委員会  
協力：長崎県警察本部

## 記念式典プログラム

- 13:00 開式の辞 実行委員会副会長  
古川隆三郎(島原市長)
- 主催者挨拶 実行委員会会長  
金澤秀三郎(雲仙市長)
- 式 辞 実行委員会名誉会長  
中村法道(長崎県知事)
- 来賓祝辞 環境副大臣  
北川知克様
- 功労者表彰 国立公園「雲仙」指定80周年実行委員会会長表彰(2)  
環境省九州地方環境事務所長表彰(5) 感謝状(1)  
島原半島ジオパーク協議会長表彰(2)
- 14:00 閉式の辞 実行委員会副会長  
松本政博(南島原市長)

12:50から、県警音楽隊の記念演奏がございますのでお楽しみください。

※雨天の場合は雲仙メモリアルホールにて、内容を一部変更のうえ開催いたします。

### 国立公園「雲仙」指定80周年 島原半島世界ジオパーク認定5周年の歩み

- |       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 昭和9年  | 3月16日 雲仙が国立公園に指定される。県営バス長崎・雲仙間開通 |
| 昭和29年 | 国立公園指定20周年記念式典。映画「君の名は」ロケ        |
| 昭和31年 | 天草諸島をあわせ雲仙天草国立公園となる。             |
| 昭和39年 | 国立公園指定30周年記念式典及び長崎県自然公園大会開催      |
| 昭和57年 | 第1回「はだしで遊ぼう雲仙」開催                 |
| 昭和59年 | 国立公園指定50周年記念式典                   |
| 平成2年  | 雲仙普賢岳198年ぶりに噴火                   |
| 平成6年  | 国立公園指定60周年記念式典。「国立公園シンポジウム」開催    |
| 平成8年  | 火山活動終息宣言、「平成新山」命名                |
| 平成16年 | 国立公園指定70周年記念式典                   |
| 平成20年 | 島原半島日本ジオパーク認定                    |
| 平成21年 | 島原半島世界ジオパーク認定                    |
| 平成26年 | 国立公園雲仙指定80周年                     |

## 功労者（団体）表彰

### 【国立公園「雲仙」指定80周年実行委員会長表彰】

#### ■宮崎 高幸

雲仙観光協会長として、国立公園「雲仙」の保護・振興につとめることに加え、地域防災活動にも率先して取り組んだ。

#### ■石田 直樹

雲仙観光協会長、島原半島観光連盟会長として、国立公園「雲仙」の発展に貢献。雲仙天草観光圏の振興にも尽力。

### 【環境省九州地方環境事務所長表彰】

#### ■NPO 法人 奥雲仙の自然を守る会

国立公園北部の唯一の利用拠点で、残存する数少ない放牧草原である奥雲仙・田代原に着目し、自然体験や環境教育の事業、清掃やミヤマキリシマ保護のボランティア活動を展開。

#### ■みそ五郎まつり実行委員会

国立公園南部にそびえる高岩山の伝説の巨人「みそ五郎」をまちづくり等に活用し、山麓地域（公園外）における魅力発信に貢献。郷土史研究により、雲仙岳全体の化身との視点を導出。

#### ■太田 一也

国立公園の中核を成す雲仙岳の噴火活動や温泉生成に関する長年の研究を通じ、火山景観や温泉の生成過程を明らかにし、ビジターセンターの展示等の普及啓発に積極的に協力。

#### ■原田 一昭

国立公園・ジオパーク内の様々なスポットの風景を美しい水彩画として描き、展示や絵葉書を通して広く一般の方々に紹介し、写真による観光PRとは異なる次元で魅力を発信。

#### ■西川 利彦・利隆

有明海や天草諸島が広く展望でき、島原方面からの国立公園の玄関口・顔でもある俵石展望所について、親子2代に渡ってボランティア精神で献身的に管理し、清潔に保持。

#### ■公益財団法人 雲仙岳災害記念財団 （感謝状）

国立公園80年の歴史上最大の事件である普賢岳平成噴火について、全国からの義捐金を活用し、噴火過程と災害実態を分かりやすく展示解説。ビジターセンターとの連携も展開。

### 【島原半島ジオパーク協議会長表彰】

#### ■九州大学地震火山観測研究センター

島原半島ジオパークのシンボル「普賢岳」の噴火観測及び研究に尽力。世界ジオパーク認定やジオパーク国際ユネスコ会議における学術面での助言と支援が顕著。

#### ■吉岡 庭二郎

島原半島ジオパーク推進連絡協議会の初代会長として日本ジオパークの認定取得とその後の発展に尽力。